

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2372201109		
法人名	株式会社サンケイ		
事業所名	グループホームチアフル 音明かり詩明かり(音明かり)		
所在地	愛知県一宮市北方町曾根字村裏西46-1		
自己評価作成日	平成27年8月5日	評価結果市町村受理日	平成27年11月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigvosyoCd=2372201109-00&PrefCd=23&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人『サークル・福寿草』		
所在地	愛知県名古屋市中熱田区三本松町13番19号		
訪問調査日	平成27年9月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「生きているってすてき!」と思える家作りがわがグループホームの願い。利用者本人の尊厳を守り、認知症からくる生活障害は援助することによって、あるいはみんなと力を合わせることで、生活を送ることができるはず、と模索している。たとえ、認知症の進行があったとしても、その人ならではの役割作りに着目しながら生活している。日々の活動では天気の良い日は散歩に出かけ、認知症があっても普通に生活している様子を知らせるのがグループホームの使命だと思っている。生活の中では楽しみになること、外出や外食も積極的に行っている。夏祭りや運動会もチアフル全体の行事として地域も巻き込み行っている。又、児童館の子供たちと七夕会やXmas会で定期的に交流を持ち、昔遊びの道具を作っては子供たちと一緒に楽しんでいる。昔遊びの名人が子供たちの前で腕前を披露する顔が得意げで相互交流に意義を感じている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員による利用者への支援についてユニット毎に取り組んでいる。食事のメニュー作りや調理をはじめ、外出行事についてもユニット毎で検討を行っており、ユニットで外出先も異なっている。その一方で、関連ホームとの合同の運動会では、ユニット間で協力しながら準備を行っており、利用者と職員がチームで団結しながら参加する等、親密な関係をつくっている。地域の方との交流についても前向きな取り組みを継続しており、ホームの行事の際には多くの地域の方の参加が得られたり、認知症サポーター養成講座への協力も行われている。また、ホームでは、看取りに向けた支援にも取り組んでおり、関連ホームとも研修会の機会をつくっている他、医療面での連携にも取り組んでいる。利用者や家族に、最期まで理念にある「生きているってすてき!」と思ってもらえるような支援に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	①常に理念を振り返り、その人らしさを大切にし尊厳に心掛けている。 ②理念を共有しその人らしさを大切にしている。 ③春祭りや地域推進会議等で交流を図っている。 ④理念に沿い利用者の自己決定と焦りを感じさせない支援に努めている。 ⑤理念を共有して実践に繋げている。	法人の基本理念を掲げており、利用者がその人らしく生活できることを目指した内容となっている。理念については、ユニット会議の際に唱和しており、実践につなげている。また、毎月のホーム便りにも理念を記載しており、家族にも知ってもらう取り組みを行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	①散歩・買い物・文化祭など気軽に声掛け挨拶交わしている。ボランティアの受け入れも積極的に行っている。 ②毎年恒例の祭りや運動会で地域との関わりを大切にボランティアの受け入れも行っている。 ③地域の祭り・文化祭・児童館の交流を進め、近所の方との挨拶等で交流を深めている。 ④⑤散歩や買い物・児童館へお土産を持参し文化祭や行事に参加し交流を深めている。	地域の行事への参加をはじめ、中学生の職場体験の受け入れを行っている。関連ホームと開催した春祭りには多くの地域の方の参加が得られている。また、地域の小学校で開催した認知症サポーター養成講座では講師を務めており、地域貢献にも取り組んでいる。	ホームでは様々な取り組みを通じながら、地域の方との関係を深めているが、継続的なテーマでもある。今後、ホームの活動が地域貢献につながっていくことを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	①地域推進会議などで事業所の取り組み伝え、認知症について話合っている。春祭り・運動会において実践している。 ②夏祭り・運動会等招待し地域の方に認知症への理解を行っている。 ③④地域推進会議や家族会にて日頃の活動状況報告し見ていただいている。 ⑤七夕・クリスマス会等、幼児との交流のなかで理解支援の方法を目で見て頂いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	①②ご家族・地域の方・民生委員・市役所・老人会に出席して頂き報告行い、意見を聞き向上を図っている。 ③⑤リーダーが会議に参加し、報告意見の交換を話し合われたことを申し送られ、向上する様見直しを行っている。 ④運営推進会議では町内会の方の出席を依頼等し、意見を活かした取り組みを行っているとおもわれる。	会議は関連ホームや合同で開催しており、活動状況の報告が行われている。家族については、各ユニットから出席をお願いしている。また、運営推進会議を通じた合同の行事の開催も行っており、ホームを知ってもらう機会としている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	①④関わっていないので分からない。 ②③事業が連携をとっており職員は報告を受けている。 ⑤市町村担当者和との連絡面談を定期的に行なわれており、協力頂きケアサービスを積極的に伝え取り組んでいる。	市内の介護事業所が集まる連絡会等の際にはホームからも職員が出席しており、意見交換等につなげている。また、市の介護相談員の訪問の際には、ホームでも受け入れを行っており、情報交換につなげている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	<p>①②どんな事があっても身体拘束は行わないと言う姿勢を全職員が持っており、日々の業務に活かしている。</p> <p>③拘束しないケアを心掛けているが、直面した場合は緊急ミーティングを開き、その方を見守りながらその人らしい生活が過ごせる様にする。</p> <p>④勉強会において身体拘束しないケアについて説明があり、それを実践している。</p> <p>⑤施錠をしなくても自主的に外へ出て行かれないため、施錠も必要とされない。</p>	ホームは平屋の構造で日中は施錠を行っていないため、職員による利用者の見守りに取り組んでいる。関連ホームとの連携しながら職員研修を実施しており、振り返りの機会もつくっている。また、管理者、リーダーによる日常的な注意喚起も行われている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	<p>①③④⑤勉強会や研修において、虐待の説明を受けその様なことがない様にしている。</p> <p>②事業所職員すべての者が、利用者の不安にならない様に努めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	①④⑤研修・申し送り・記録等を話し合い活用している。 ②必要な利用者や活用したい利用者が、いつ出ても良い様に制度の理解をできる様に努めます。 ③利用者に関わっている方が見えたので、学ぶ機会があった。今後に繋げていけるように努める。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	①管理者が十分な説明を行っている。職員が受けた際には丁寧に対応し管理者に繋げている。 ②③④事業所が関わっている。十分な説明を行っていると報告を受けている。 ⑤家族等密に会話多く記録等十分理解を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	①ご家族の意見要望には出来る限り応えられる様に努め、リーダーに報告相談している。 ②③④⑤家族会や日頃より、話をしやすい場をつくり意見や要望をを伺い浴える様取り組んでいる。	ホームでは、家族会を開催している他にも、運動会等の行事にも家族の参加が実現しており、要望等の把握と家族間の交流に取り組んでいる。また、毎月発行しているホーム便りには、ホームでの様子の他にも一人ひとりの状況報告も添えられている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	①半年に一回面談があり、意見交換や相談している。 ②定例議会などして意見交換を行い、向上心を図っている。 ③④⑤意見はリーダーに伝え、また管理者へも伝える機会はある。相談や意見を聞いて頂いている。話し合い改善に向けて下さっている。	ホームでは、ユニット毎に職員間で検討しながら運営できるように取り組んでおり、現場職員の意見等について、管理者、リーダーが把握と反映に取り組んでいる。また、法人の運営者でもあるマネージャーによる個別面談の機会もつくられている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	①自己評価、リーダー評価にてキャリアパスの金額決定している。希望休や勤務希望十分配慮下さる。 ②④キャリアパス等で反映され、やりがいが持てる。 ③⑤年に一度面談があり、希望休や就業時間等出来る限り優遇されている。向上心を持って働ける職場になっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	①レベルに合わせた内部研修に参加できる機会を頂いている。 ②③④⑤勉強会が定期的実施され、出席しやすい環境になっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	①リーダーが主に外部研修に参加し交流回り、情報を申し送られサービス向上に努めている。 ②③研修に参加した際、情報交換しサービスの向上に取り組んでいる。 ④⑤参加しておらず評価不能。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	①初期段階でリーダーが対応し、信頼関係を深めケアの方向を見つけ職員に繋げている。 ②③利用者との会話等で予防を出来るだけ聞き出し対応している。 ④⑤コミュニケーションを図りながら、傾聴を大切にしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	①管理者とリーダーが面談行い、家族と密に報告情報を共有し信頼関係を築いている。施設内見学して頂き、生活状況等の説明行っている。 ②③ご家族の受け渡しに対して明確に把握に努めている。 ④⑤面会時近況報告行い、要望を聞き入れサービス提供に努める様努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	①ご家族・ご本人の様子を観察したり、要望を聞きながら必要としているサービスを見つけ支援している。 ③④⑤利用者の気持ちを伝え、ご家族に安心して頂ける様、又疑問等には話合い支援出来る様関係作りに努めている。 ②要望性に対して答えの明確化を図る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	①人生の先輩として尊敬し、学び力が発揮出来る様に支援している。 ②日々の声掛けにて構築を図っている。 ③④日々の生活で出来る能力を奪わず、見守り相談にのって頂いたり悩みを聞き支え合う関係作りに努めている。 ⑤役割支援行いながら共同生活を試み良い関係が出来る様目配りを行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	①利用者の気持ちを伝え、ご家族に安心して頂き話合い共有している。 ③⑤利用者の気持ちを伝え、ご家族に安心して頂ける様、また話合い支援出来る関係作りに努めている。 ②④ご家族の疑問等には出来るだけ、お答出来る様に努力している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	①②馴染みの方の面会時対応大切にしている。 ③⑤外出やドライブにて、出来る範囲でその方の思いのある場所に行き、満足して頂ける様、支援している。 ④訪問者の受け入れや、外出などを進めている。	利用者の入居前からの友人、知人と交流を続けている方や今までの生活習慣を継続している方もおり、一人ひとりの馴染みの関係継続に取り組んでいる。また、定期的に外出している方の中には、定期的に自宅に行き家族と過ごしている方もいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	①仲良し同士楽しく過ごせる環境作りをしたり、孤立しない様に仲介行い交流を図っている。 ②③④利用者と日常を共に過ごすことで、利用者同士の関係を理解し楽しく過ごせる様に努力をしている。 ⑤利用者が互いに触れ合える様な環境作りに努め、孤立しない様に支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	①②③リーダーと信頼が深まっており行事などボランティアとして参加頂き交流図っている。 ④リーダーが契約を終了した利用者のご家族との交流がある事を報告してくれた。 ⑤契約終了後も近況報告等、リーダーを通し報告ありその後の訪問も気兼ねなく来れる環境整えている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	①④出来る限り希望に沿える様取り組んでいる。 ②生活意欲向上に繋がる様に努力している。 ③⑤入所時のアセスメントや日常の会話や雑談等のなかより、利用者からの意向を聞き漏らさないように努めている。	職員は担当制も活用しながら一人ひとりの把握に取り組んでおり、把握した情報は、ユニットで行われている毎月のカンファレンスにも報告され、職員間の共有につなげている。また、センター方式も活用しながらアセスメントを行い、意向等の把握につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	①②④情報ファイルやご家族の話、他職員の申し送り等で把握に努めている。 ③入所前の面談やアセスメントシートを良く把握し、生活に近い状態でケアが出来る様に努めている。 ⑤先輩からのアドバイスや資料・本人との会話等で知り得た情報で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	①毎朝のバイタル測定や生活記録、コミュニケーションなどで体調の変化に気付ける様努めている。 ②他の職員と情報を共有し把握に努めている。 ③⑤日々の生活を観察し見守りながら、その人らしい生活が送れる様努力し、また出来ている事を維持する ④記録を活用し申し送り徹底している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	①②毎月個々のカンファレンスを行い、アセスメントを見直し本人に合った介護計画を立てている。 ③④⑤毎月のミーティング、その日の申し送りなど一人一人の状態を話し合い計画を立てている。また、ご家族の要望も取り入れる。	介護計画については、6か月ごとの見直しが行われており、毎月のカンファレンスを通じたモニタリングが行われている。また、日常の個人記録用紙には、一人ひとりに合わせた介護計画の内容が記載されており、日常的なチェックにつなげている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	①明確に記録を残し、問題点は話し合い情報は常に交換し日々のケアを見つめ直し、ケアプランに繋げている。 ②④申し送りノートの活用等で情報を共有している。 ③⑤職員間での情報や案を共有し、日々のケアを実践結果を出すこと出来ている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	①個々に対し何がベストなのか？また、同系列の施設を利用出来る様説明している。 ②③サービスの多機能に努めている。 ④⑤小規模多機能のオープンなど取り組みが見られ、柔軟な対応が出来ている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	①多くのボランティアの協力により、趣味の幅を広げ負担が掛からない様、見守り楽しんで頂いている。 ②③各種のボランティアの協力により、充実した暮らしが出来ている。 ④⑤地域資源を活用し多くのボランティアの協力を仰いでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	①②月に一度の往診と2回の看護で体調を把握し、早期発見・早期 対応できる様連携を図っている。 ③緊急時、即 対応できるかかりつけ医がいる。 ④⑤その都度往診などの適切な医療を受けて頂いている。	協力医による月1回の訪問診療の他にも随時の対応も可能な体制をつくっており、状態変化に合わせた支援が行われている。また、看護職員の勤務の他にも管理者が看護師でもあるため、日常的な健康チェックや医療面での情報提供等も行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	①現状を詳しく報告し、指示を仰ぎ常に連携している。 ②瞬時に関連体制の強化を図っている。 ③定期看護等で適切な支援を受けている。 ④看護の日を設け定期的に利用者の状態を把握。 ⑤緊急時を含め適切な対応ができています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	①いつでも施設に戻れる様、受け入れ態勢できている事伝え不安を取り除き治療に専念して頂く。リーダー 看護師とワーカー連絡とり情報交換し関係深めている。 ②③④⑤リーダー、看護師、管理者が話し合い病院と情報交換行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	①④管理者・リーダー・看護師・ご家族・主治医と十分に話し合い、また、リーダー、看護師・職員と今後の方針を十分検討しチーム一つになりケアを行っている。 ②③⑤チームでの支援で最適な介護を目指している。	ホームでは看取り支援に向けた指針の作成を行っており、家族との話し合いを行いながら看取り支援が行われている。また、職員に対する勉強会の機会をつくりながら、職員間の連携を深めたり、資質向上に向けた取り組みが行われている。	全体的に重度の方が増えている現状があるが、意向等にも合わせながら、ホームで出来る対応を考えている。職員間でチームで取り組めるように、継続した取り組みに期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	①内部勉強会や日頃より、全職員で緊急対応の練習を行っている。 ②定期研修等参加行い、発生時に的確な対応が出来る様努力しています。 ③④年一度は勉強会に取り入れる。日頃から職員同士緊急対応の練習も行っている。 ⑤実践力を身につける訓練を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	①③④三か月に1度の防災訓練を行っている。全職員の確かな行動と連携で利用者を安全に避難出来る様練習、訓練をしている。 ②場面に遭遇した時、瞬時に判断出来る様にしている。 ⑤避難訓練を定期的に行い、水・食糧品・薬などの備蓄を行い地域の方の協力体制築いている。	年4回の避難訓練の機会がつけられており、ユニット毎での訓練や合同の訓練等、様々な状況を想定した訓練が実施されている。また、訓練の際には、消防署の協力や地域の方にも参加してもらおう機会をつくっている他、ユニット毎に水や食料等の備蓄が行われている。	ホームでは、地域の方との協力関係にも前向きな取り組みが行われている。ホームでの取り組みが、地域の方との協力関係が深まる機会につながることを期待したい。

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	①本人のプライドを傷つけない様に気を付けている。 ②どの様な場面に対しても理想の声掛けを行っている。 ③尊厳を大切にする様心掛けています。 ④言葉使いや言葉かけの内容には常に注意をしている。 ⑤人格尊重、プライバシー保護対応できている。	ホームの基本指針に職員の接遇に関する内容が記載されており、会議等の機会を通じた定期的な見直しも行われている。また、日常的な管理者、リーダーによる注意喚起の他に、関連ホームとの合同の研修会の機会もつくられている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	①出来る限り、自己決定出来る様支援している。 ②声掛けにて納得、安心して頂ける様努力している。 ③ご本人に合わせ強制せず、意志を表せる様声掛けしている。 ④利用者の問い掛けや希望を伺う様にしている。 ⑤分からない。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	①1人1人のペースに合わせ、希望に沿う様に気を付けている。 ②日々の流れは利用者中心の思いで動いている。 ③④そのらしさを大切に生きがいを持って生活が送れるように見守り支援している。思いを伺い会話から見つけている。 ⑤出来る限る優先し、利用者のペースに合わせている	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	①④その人らしい見だしなみや、おしゃれが出来る様に支援している。 ③洋服はご自分で選んで頂く。分からない様であれば助言する。移動美容室2ヶ月に一度訪問あり。 ②⑤声掛け、介助等支援行う。	
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	①②その方の残存機能を活かして共に取り組んでいる。 ③役割を作り、楽しく行って頂ける様にしえんする。 ④細かく切る、彩りを良くする等の工夫をしている。 ⑤会話や好み役割等、見守り一緒に行っている。	メニューをユニット毎に考えており、買い物や調理もユニット毎に行われている。利用者も買い物、調理、片付け等、出来ることに参加しており、職員も一緒に食事を楽しんでいる。また、身体状態に合わせた食事の提供も行われている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	①③毎日、食事・水分の摂取量をチェックしている。栄養のバランス(BMI)食事制限で体調管理を行っている。 ④⑤食事摂取については、細かく記録に残し職員間での申し送りでも確認している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	①⑤声掛け介助にて行っている。 ②声掛けにて実施、案内をして清潔保たれている。 ③毎食後の歯磨きは徹底している。 ④食後1人1人に合わせた口腔ケア実施、確認している。義歯のポリドント使用、一緒に行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	①②③排泄チェックをつけ、パターンを把握し快適に過ごして頂ける様、声掛け誘導を行っている。 ④⑤個々の排泄のパターンを把握できる様観察し、声掛けからの自立支援を行っている。	利用者の身体状態に合わせた排泄チェックが行われており、日常的な申し送りも通じながら情報を共有し、トイレでの排泄が継続できるように取り組んでいる。また、ホームでは、毎朝ヨーグルトを提供しており、快適な排泄につなげている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	①④水分摂取や運動を毎日行うことにより、便秘の予防を行っている。 ②体質的な問題が出ない様に飲食には気を付けている。 ③通じに良い野菜を取り入れたり、水分を多めに取ったり運動をして頂き、自然排便を心掛けている。 ⑤便秘薬の回数を観察し便秘予防を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている。	①④ユニット事に一応の曜日は決まっているが、汚染されたり、申し出があればいつでも可能と言う体制で支援を行っている。 ③⑤仲よし同士で入ったり、1人でゆったりと入ったり個々に合わせている。 ②質問内容と異なる。	ホームでは、入浴日をユニット毎に交互に行っていることで、利用者が定期的に入浴できるようにユニット間で取り組んでいる。ホームには機械浴も設置されており、重度の方にも対応している。また、入浴剤の使用や季節の入浴も行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	①睡眠前に不安な気持ちにならない様傾聴し、安心して眠れるようにしている。 ②利用者の状況の中で、判断おこなっている。 ③④自室で休まれる方、ソファで休まれる方、本人の意志に任せ休んで頂いている。 ⑤日中の傾眠を少なく、活動支援行い寝具等の整備を行い安眠に心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	①③薬剤情報には必ず目を通す。変化が見られた際は、看護師に報告指示を受ける。 ②個人差により変化ありがちな為に変動はないか、確実に努めている。 ④理解できる様努力している。 ⑤服薬変更時、記録申し送り等で、注意深く観察を行う様に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	①④やりがいのある役割を見つけ出し、それを実践出来る様に支援している。 ②団体生活の楽しみや、個人の楽しみの違いを明確に判断し対応出来る様に努めます。 ③個々に合わせ趣味や特技を活かし、活動出来る様に支援している。 ⑤レクリエーションや楽しみ事を日々の生活よりヒントを得て役割や楽しみの支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	①②④声掛け1人1人の希望を取り入れ、出掛けられる様にしている。外食・遠足等実施、できている。 ③個々に外出したり、ご家族の協力を得て外出している。本人の希望に沿える様に努めている。 ⑤買い物・散歩で地域の人々の協力を得られ行えている。家族との外出準備等で支援している。	外出支援についてもユニットで外出先を考えており、利用者が定期的に外出できるように取り組んでいる。日常的な買い物に同行したり、外食の機会をつくったり、季節の外出行事も行われている。また、希望等に合わせた少人数の喫茶等の外出も行われている。	ホームは、利用者が気軽に外に出ることができる環境であるが、現状、重度の方が増えていることで、外出支援がテーマでもある。希望に合わせた外出等、重度の方も外出の機会を増えることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	①金銭管理できている方には、買い物に出掛けた時に使えるように支援している。 ②支援対応できていない。 ③お金の管理は職員だが、希望があれば買い物に同行して頂き、購入して頂いている。 ④⑤1人1人の使う喜びを支援、買い物時財布等無くない様注意行い、自由を買って頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	①電話や手紙の機会は少ないが、機会があれば出来る環境です。 ②支援対応は少ないが、状況に応じて電話とか手紙説明している。 ③④ご本人の要望があれば、手紙を書き一緒にポストへ出しに行っている。 ⑤リーダーが対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	①季節に合わせた壁紙を全員で作成し、掲示する等工夫している。 ②⑤清潔感の注意を払い、居心地良い空間を作っている。 ③④季節を感じられる様、共有スペースに飾り付けを行っている。中央にはゆったりとくつろげるソファが置いてある。	ホーム内はゆったりとしており、天井も高いため、利用者が日常生活で圧迫感を感じないように配慮されている。ホームの外には花が植えられてあり、利用者の楽しみにもなっている。また、利用者の作品の展示やホームでの様子を写した写真が飾られてある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	①②④利用者同士の関係を把握し、全員が楽しく過ごせる様に支援している。 ③ウッドデッキがあり、お茶ができる様になっている。気分転換できている。 ⑤席などの配慮等工夫を行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	①掃除・空気の入替えや布団干しを行っている。 ②家族の意見を重要視している。 ③馴染みの物が置いてあり、ゆったりと安心できる空間を作っている。 ④居心地の良い家具の配置等行っている。 ⑤質問内容と異なっている。	居室については、ユニットの開設時期が異なるため、居室内の備え付けの設備や備品等が異なっている。利用者により、使い慣れた家具や鏡台等が持ち込まれ、利用者一人ひとりに合わせた居室づくりが行われていることは共通している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	①自立した生活を送れるように工夫している。 ②工夫していると同時に、分からない場所は案内している。 ③④廊下・風呂場・トイレに手すりが付けてあり、玄関はスロープになっている。表示等、できるだけ工夫している。 ⑤質問内容と異なる		